

科目等履修生が受講できる科目一覧(平成22年度)

- 1) 後期配当科目については、後期の募集期間内にお申し込みください。(募集期間は後日お知らせします。)ただし、「地域社会学特論」については前期集中講義期間に開講されるため、今回のお申込みとなります。
- 2) []で示す科目は、大学院入学選抜第2期募集での入学者の有無等により、開講しない場合もあります。詳しくは教務学生課へお問い合わせください。
- 3) 非常勤講師が担当する科目は、集中講義で実施する場合があります。

科目区分	番号	科目名	前期時間数	後期時間数	単位数	受入人員	受入条件等	備考
専門支持科目	1	在宅ケア論Ⅱ	30		2	特に制限なし		一部非常勤講師担当
	2	地域社会学特論		30	2	3名程度		非常勤講師のみ担当
	3	社会保障特論		30	2	3名程度		
	4	人体機能解剖学特論		30	2	特に制限なし		
	5	病態生理学特論	30		2	2名程度		
	6	障害科学特論	30		2	特に制限なし		非常勤講師のみ担当
	7	栄養指導論		30	2	特に制限なし		一部非常勤講師担当
	8	臨床栄養学特論		30	2	3名程度		
	9	生活環境科学特論	30		2	特に制限なし		非常勤講師のみ担当
	10	看護管理学		30	2	特に制限なし		
	11	看護コンサルテーション	30		2	特に制限なし	次の条件で履修可能な者 ①1年次、2年次で半分ずつ実施する。②5月から6月の集中講義で実施する。	一部非常勤講師担当
	12	看護倫理学	30		2	特に制限なし		非常勤講師のみ担当
	13	アドバンス・ヘルスアセスメント	30		2	若干名	看護師免許を有し、臨床看護の経験がある者	
	14	国際母子保健学		30	2	2名程度	看護師免許を有する者	
	15	看護教育論	30		2	特に制限なし		一部非常勤講師担当
	16	看護理論特論	30		2	2名程度	看護師免許を有する者	一部非常勤講師担当
専門科目	17	保健活動学特論		30	2	4名程度	保健師免許を有するか地域保健活動の経験を有する者。実際に即した授業のために経験と基礎知識が必要である。	一部非常勤講師担当
	18	精神保健学特論		30	2	特に制限なし		
	19	精神保健学演習	60		2	特に制限なし		
	20	生活支援福祉学特論		30	2	1～2名程度		
	21	機能形態学特論		30	2	特に制限なし	日程調整が可能な者。基礎的内容の専門支持科目「人体機能解剖学特論」の受講を勧める。	
	22	機能障害・回復学特論		30	2	2名程度		
	23	機能障害・回復学演習	60		2	2名程度		
	24	リハビリテーション・福祉工学特論		30	2	特に制限なし	医療養成校卒業相当の者	
	25	リハビリテーション・福祉工学演習	60		2	若干名	医療養成校卒業相当の者	
	26	健康・栄養ケア特論		30	2	特に制限なし	領域学生が履修する場合	
	27	環境保健学特論		30	2	特に制限なし		
	28	環境保健学演習	60		2	特に制限なし		
	29	リハビリテーション看護学特論	30		2	2名程度	看護師免許取得者	
	30	高齢者生活支援看護学特論	30		2	2名程度	看護師免許取得者	
	31	高齢者・リハビリテーション看護学演習Ⅰ		30	2	2名程度	看護師免許取得者	
	32	高齢者・リハビリテーション看護学演習Ⅱ	30		2	2名程度	看護師免許取得者	
	33	看護システム開発論		30	2	数名		
	34	母子家族看護学特論	30		2	特に制限なし		一部非常勤講師担当
	35	小児家族看護学特論Ⅰ	30		2	2名程度	看護師免許を有し小児看護(保健)の経験を有する者	
	36	小児家族看護学特論Ⅱ	30		2	2名程度	小児家族看護学特論Ⅰの単位を修得した者	
	37	小児ヘルスケア演習	60		2	2名程度		
	38	母性看護学特論	30		2	特に制限なし	看護師免許を有する者	
	39	周産母子看護学特論Ⅰ		30	2	2名程度	看護師・助産師教育を修了していること	一部非常勤講師担当
	40	救急・クリティカルケア看護学特論		30	2	2名程度		一部非常勤講師担当